

上峰中学校道徳授業構想シート

月 日() 年 組

◆主題名

分かり合うために必要なこと

内容
項目

B-(9)
相互理解、寛容

価値
項目

教材名・出典
コトコの涙

本時のねらい

相手と分かり合うためには、「自分の考えを伝えること」と「他者の見方や考え方を認めること」の両方が必要であることを理解し、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

生徒の実態を把握するために必要なアンケートの内容

L
i
n
k

中心となる発問を主題とつなげるために、どんな発問をしておけばよいだろうか。

- ① 佐々岡さんに声をかけたとき、コトコはどんなことを思っていただろうか。
 - ・ 元気つけてあげよう。
 - ・ 優しく接してあげなければ…
- ② コトコに声をかけられたとき、佐々岡さんはどんなことを思っていただろうか。
 - ・ 嫌ではないが、今は見たくない。
 - ・ せからしい、静かにしろ。
- ③ コトコがぬぐった一粒の涙にはどんな意味があったのだろうか。
 - ・ 悔し涙
 - ・ 良いことしたのに…

◆テーマ

(中心となる発問)

マサシのおかげで、コトコは何に気付いたのだろうか。
(止まらなかった涙の意味)

ねらいとする価値に迫るために

なぜ学び合う活動をさせるのか、その意図を明確に。

◆学び合う活動のねらい

変容をねらう 多様さに気付かせる 自分の考えを深めたり広げたりする

その他()

学び合う活動のねらいを達成するための手立て

1 心情円盤 2 ネームプレート 3 付箋紙 4 心のものさし 5 ICT 6 その他

学び合う活動のスタイル

1 フリー() 2 ペア 3 グループ 4 その他

◆最後の振り返り

この時間を通しての「本音」が聞けるように！

【授業後の反省】

・教材文がボランティアにまつわるものだったので、生徒の振り返りが内容項目の相互理解からぶれないか懸念していたが、最後の感想ではほとんどの生徒が相互理解に軸足を置いた振り返りを書いていたので安心した。
・振り返りの前に「似たような話で、手伝いをしてあげたのに、友だちが不機嫌になった経験や話をきいたことがないか。」とボランティア以外の例をあげ、ボランティアから生徒の意識を離すように工夫した。
・質問数が多く、時間が足りなくなることが多かった。中心発問前の①～③を効率よく回せばいくらか解消できるかと思う。